

科目	国語 (Japanese Language and Literature)		
担当教員	中本 百合枝 非常勤講師		
対象学年等	電気工学科・4年・前期・必修・1単位 (学修単位I)		
学習・教育目標	B1(100%)	JABEE基準1(1)	(d)2-b,(f)
授業の概要と方針	論理的文章が書けるよう訓練することを目標とする。そのためにさまざまなジャンルの作品を分析し、自分の文章に取り込んでみる。なお、実践的な日本語能力の養成を目的として編集されたテキストを用い、記述・発表・討論などにおいて正確に表現できるコミュニケーション能力を身につけることも、同時に目指していく。		
	到達目標	達成度	到達目標毎の評価方法と基準
1	【B1】文章表現の基本を習得する		正しい言葉遣いが理解できているか、定期試験および授業中の発表・提出された文章により評価する。
2	【B1】論理的文章の基本を習得する		文体が統一された論理的文章が書けるか、定期試験および提出物により評価する。
3	【B1】小論文の書き方を習得する		小論文を提出させ、型を守って論理的に書かれているか評価する。なお定期試験も実施する。
4	【B1】日常生活やビジネスの場における正しい言葉遣いを習得する		正しい言葉遣いが理解できているか定期試験および提出物により評価する。
5	【B1】口頭発表で個性的な自己表現ができるようになる		分かりやすい口頭発表のための知識・技術が習得できたか、授業中の演習および定期試験で評価する。
6	【B1】レジュメ、発表資料の作り方を習得する		レジュメ、発表資料の作り方が習得できたか、提出された資料により評価する。
7			
8			
9			
10			
総合評価	成績は、試験90%、レポート10%として評価する。成績は試験90パーセント、提出物(小説・小論文)10パーセントとして評価する。試験は到達目標1・2・3・4・5について実施。到達目標1・2・3・4・6については提出物・演習により評価する。100点満点で60点以上を合格とする。		
テキスト	「日本語表現ガイダンスー情報の収集から発信まで」佐藤嗣男他著(おうふう)		
参考書	「理科系の作文技術」木下是雄著(中央公論新社)		
関連科目	三年「国語」		
履修上の注意事項	特になし		

